



道新青葉中央販売所だより

発行元：(株)道新販売センター 青葉中央販売所

〒004-0021 厚別区青葉町6丁目1-33 ☎0120-881-365 FAX891-3486

営業時間 平日：9時～20時 日祭日：9時～12時 (5月1日より営業時間が変更となりました)

2019/ 6/5
水曜日

厚別アラ歩き

#21 小野幌⑦ JR踏切前のクランク

前号では、厚別東5条2丁目のJR函館本線「西通り踏切」という名前の由来を推理しました。図1の地図で見ると、この踏切を通る道路は南東側でクランクしています。なぜクランクしているのでしょうか。今号ではその理由を探ります。

古い地図をたどっていきましょう。図2は1896(明治29)年作製の地形図です。矢印で示したとおり、鉄路の南東側に道が通じています。南東側に先に集落ができたためです。しかし北西側にはまだありません。図3は1916(大正5)年発行の地形図です。北西側にも道ができて、現在と同じクランクが形成されています。

さて、図3の地図を広域で見たのが図4です。クランクの場所を赤い○で囲みました。鉄路の北西側にはこの道を含め、矢印で示したように道が等間隔で規則的に何本か敷かれています。一方、鉄路の南東側には等間隔の道は造られていません。北西側と南東側で道路の“造られ方”の違いが見られます。クランクはこの違いに起因しているようです。ではなぜ、このような違いが生じたのでしょうか。

前号でお伝えしたように、この一帯の町名は現在、北西側は「厚別北」、南東側は「厚別東」ですが、もとはどちらも「厚別町小野幌」でした。その前は「白石村小野幌」です。さらにその前は江別村(のちの江別町)に属していました。白石村に編入されたのは、鉄路の南東側が1913(大正2)年、北西側は1918(大正7)年です。

図3、図4の地図が作られた1916年の時点では、南東側は白石村でしたが、北西側はまだ江別町でした。集落ができていた南東側は白石村とのつながりが深かったために一足先に編入されたのですが、北西側は野幌屯田兵村の「公有地」だったため遅れたのです。

北西側の規則的な道路は屯田兵村の延長として区画されたものでした。クランクは、白石村に含まれた南東側と江別町に残った北西側のせめぎ合いの産物。そのように見ることはできないでしょうか。

(地域史研究者 杉浦正人)



図1：現在図（国土地理院サイトから）

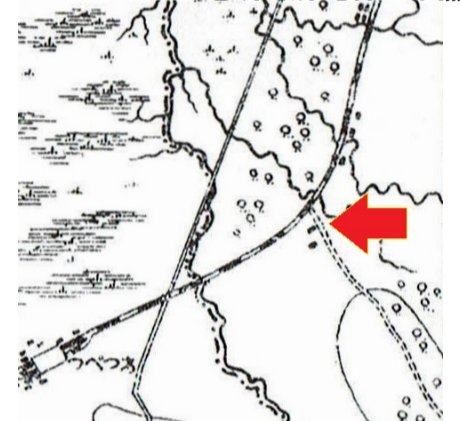


図2：明治29年地形図（5万分の1「札幌」）

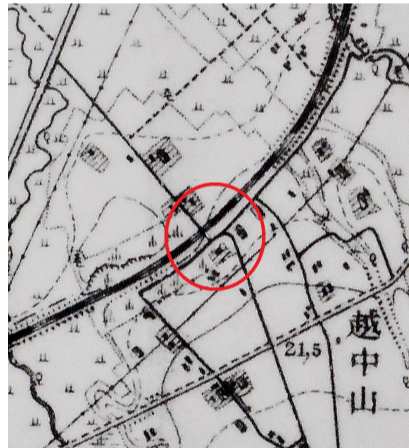


図3：大正5年地形図（2万5千分の1「月寒」）

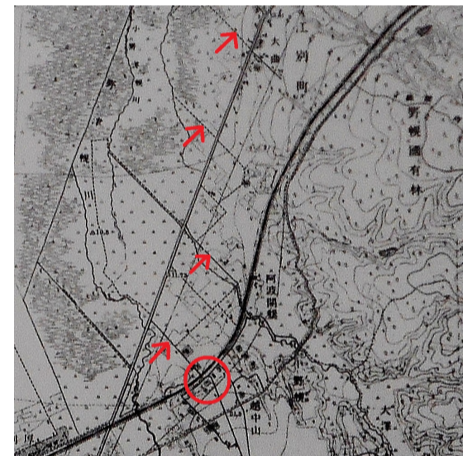


図4：同左

参考文献：『小野幌開基百年』1988年、p p.30-32、『野幌屯田兵村史』1969年「野幌屯田兵村給与公有地分布図」

北海道新聞青葉中央販売所は献血活動を応援しています

命を救うボランティア献血バスへ行こう！



☆みなさまの血液は、誰かのいのちにつながります☆

毎月、ご近所に献血バスがやってきます



献血状況	～献血バス運行スケジュール～	
A型とO型とAB型が不足し困ってます！	6月13日(木) 14:30～17:00	札幌市交通局本局 厚別東4条4丁目8-8
	6月20日(木) 15:30～17:00	厚別郵便局 厚別中央2条5丁目1番1号

新さっぽろ献血ルームご案内

厚別中央2-5 Duo(デュオ)1地下1階

【献血受付時間】①10:00～13:00 ②14:00～18:00

休憩スペースにはパンやクッキー、お菓子などをご用意。キッズスペースも充実！安心して献血できます。

※①北海道赤十字血液センターHPより転載 ※②献血バスの運行予定は、変更になる場合がございますので、直近の予定は北海道赤十字血液センターHPにて必ずご確認ください。
<https://www.bs.jrc.or.jp/hkd/hokkaido/>